

内 訳 書

※次の各表(1～2)に必要な員数を記載してください。

※歩掛の単位は、適宜変更が可能であるとともに、補正等がある場合は、基準歩掛及び補正方法を明記してください。

1. 希少猛禽類調査

業務項目	単位	令和7年度設計業務等技術者単価による技術者区分							備考
		直接人件費							
		主任 技術者	理事・ 技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
1. 希少猛禽類調査									
1-1. 調査計画の策定	式								業務量は見積仕様書 の内容量を予定
1-2. 現地踏査	式								(参考)
1-2. 定点観察									
(1) 定点観察(1定点)	回								1定点、2日間で1回
(2) 定点観察(2定点)	回								2定点、2日間で1回
(3) 定点観察(3定点)	回								3定点、2日間で1回
(4) 定点観察(4定点)	回								4定点、2日間で1回
1-3. 調査結果整理	回								定点観察1回あたり
1-4. 調査結果に対する評価	式								
1-5. 検討会対応									
(1) 検討会資料の作成	回								
(2) 検討会議事録の作成	回								
1-6. 点検及び取りまとめ	式								

2.自然環境調査(希少猛禽類を除く)

業務項目	単位	令和7年度設計業務等技術者単価による技術者区分							備考
		直接人件費							
		主任 技術者	理事・ 技師長	主任 技師	技師 (A)	技師 (B)	技師 (C)	技術員	
2. 自然環境調査 (希少猛禽類除く)									
2-1. 現地踏査	式								上流・下流の合計
2-2. 調査計画の策定	業務								業務量は見積仕様書 の内容量を予定
2-3. 文献調査等									
(1) 動物・植物	式								上流・下流の合計
(2) 地形・地質、景観、人と 自然のふれあい活動の場	式								上流・下流の合計
2-4-1. 現地調査(上流部)									
(1) 動物調査									
①哺乳類	回								
②鳥類	回								
③両生類、爬虫類	回								
④陸上昆虫類	回								
⑤魚類	回								
⑥底生動物	回								
(2) 植物調査									
①植生	回								
②植物相	回								
2-4-2. 現地調査(下流部)									
(1) 動物調査									
①哺乳類	回								
②鳥類	回								
③両生類、爬虫類	回								
④陸上昆虫類	回								
⑤魚類	回								
⑥底生動物	回								
(2) 植物調査									
①植生	回								
②植物相	回								
2-5. 現地調査結果とりまとめ	式								上流・下流の合計
2-6. 調査結果に対する評価等	式								上流・下流の合計
2-7. 点検及び取りまとめ	式								

注意1) 歩掛算定に当たり、調査地区毎の山林、農地等土地利用の状況を考慮するものとする。

注意2) 各地区の図中に改変区域面積(予定)を示しているが、参考値であり、歩掛は箇所毎の1回あたりを算出するものとする。